

No.11

春を待つ木々

寒い冬の間、落葉樹は葉を落とし枯れ木のように見えますが、各々特徴のある姿で春を待っています。今回は早春に花が咲く木の姿を紹介します。



1 : シテコフシ



2 : オオカメノキ



3 : クロモジ

- ① **シテコフシ (モクレン科)** 高さ2m～7mの落葉低木。沢沿いの湿地で3月下旬頃より咲き始めます。東海地方特有の絶滅危急種ですが、海上の森には数千本自生しています。
- ② **オオカメノキ (スイカズラ科)** 高さ2m～5mの落葉低木。3月下旬頃より森の各所で葉の展開に先がけ咲き始めます。日本海側に多い木ですが、海上の森にはたくさん自生しています。
- ③ **クロモジ (クスノキ科)** 高さ1m～3mの落葉低木。3月中旬頃ダンコウバイより少し遅れて咲き始めます。樹皮を傷つけると非常に良い匂いがするので、和菓子の楊枝に使います。雌雄別株。



4 : ダンコウバイ



5 : イヌコリヤナギ



6 : サクラバハハンノキ

- ④ **ダンコウバイ (クスノキ)** 高さ1m～3mの落葉低木。3月上旬に葉の展開に咲き出すため非常に目立ちます。花は良い匂いがします。雌雄別株で雄花の方が大きく派手な感じがします。
- ⑤ **イヌコリヤナギ (ヤナギ科)** 高さ2m～4mの落葉低木、3月下旬より咲き始めます。駐車場裏の草地では近年猛烈な勢いで増えています。雌雄別株。葉に虫こぶがたくさんつきます。
- ⑥ **サクラバハハンノキ (カバノキ科)** 高さ20mに達する落葉高木。湿り気のある沢沿いに多い。絶滅危急種ながら海上の森にはたくさんあります。2月ごろ赤い紐状の雄花と根元に紅色の雌花をつけます。